

事務事業名	根本山自然観察センター自然環境学習事業	担当	市民生活部 環境課（根本山）	
政策名	5 「環境づくり」～安全なまちアップ!～	施策名	4	自然環境の保護と地球温暖化対策の推進
成果指標	名称	単位	3 年度実績	
	観察センター利用者数（入館者数）	人	5,834	
	団体利用数	団体	31	
	自然体験教室開催回数	回	14	
事業概要	根本山自然観察センターを中心とする約22?の区域（根本山生き物ふれあいの里）の自然環境を活用した、学校等団体利用の自然ガイドの実施、1年を通した「自然体験教室」の開催、センター内の展示見学や野鳥クラフト等を通して、市民の自然環境学習を推進する。			
3 年度実績・成果・課題	【実績】コロナ禍による休館（8月～9月）や行事休止があり、利用者数は前年の6,604人から5,834人に減少したが、うち団体利用数は17団体（388人）から31団体（928人）に増加し、コロナ前に戻りつつある。また、自然体験教室は、前年の10回（194人）に対し14回（286人）実施できた。近年、根本山の自然の中のハイキング・ウォーキングを楽しむ野外利用が増えている。 【成果】施設の利用及び自然体験教室などへの参加により、環境への理解を深めている。 【課題】コロナ禍における行事開催。野外散策利用者の定着。センターの展示内容の充実等。			
今後の方向性と具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 【具体的な改善案】 ・野外散策の利用について、より一層、自然への関心を高め理解を深められる方法について検討。 ・展示内容について検討。			